

児童図書研究室だより

2009年6月

児童図書研究室の展示について

児童図書研究室では、およそ2ヶ月ごとに、テーマを決めて研究書や参考図書の展示をしています。

4～5月は、「2008年度 児童図書 主要受賞作品」の展示を行いました。現在は、「外国の絵本 韓国」というテーマで、韓国の絵本を展示しています。（7月15日まで）

韓国の絵本といえば、伝統文化を取り入れた題材や、迫力のある独特の絵がすぐに思い浮かびますが、韓国の絵本では、美術を専門に学んだ作家が多いようで、ビジュアル的にも魅力のあるものが目立ちます。折しも、岡山県立美術館では、7月12日まで「朝鮮王国の絵画と日本」をテーマに展示をされています。韓国の絵本の読み聞かせのイベントも行われるそうです。

児童図書研究室の展示では、日本で出版された絵本に加え、原書や韓国の絵本・児童文学に関する資料も一緒に紹介しています。お隣りで、歴史的にもつながりの深い国ですが、児童の本に関する研究書などは、まだ少ないようです。出版されている図書や論文が載っている資料など、できるだけ集めました。関心のある方は、ぜひ児童図書研究室で実際に手に取ってご覧ください。展示の様子や本のリストは、ホームページでも見ていただけます。

☆韓国の絵本に関する研究書・資料

「韓国・朝鮮児童文学評論集」 仲村修/編著 明石書店/出版 1997.3

論文集『韓国の絵本』 大阪国際児童文学館/編著・出版 2006

ブックエンド第3号（韓国絵本が熱い！他） 絵本学会/出版 2005 など

次回の展示（7月17日～9月16日）は、「バージニア・リー・バートンの絵本」をテーマにする予定です。

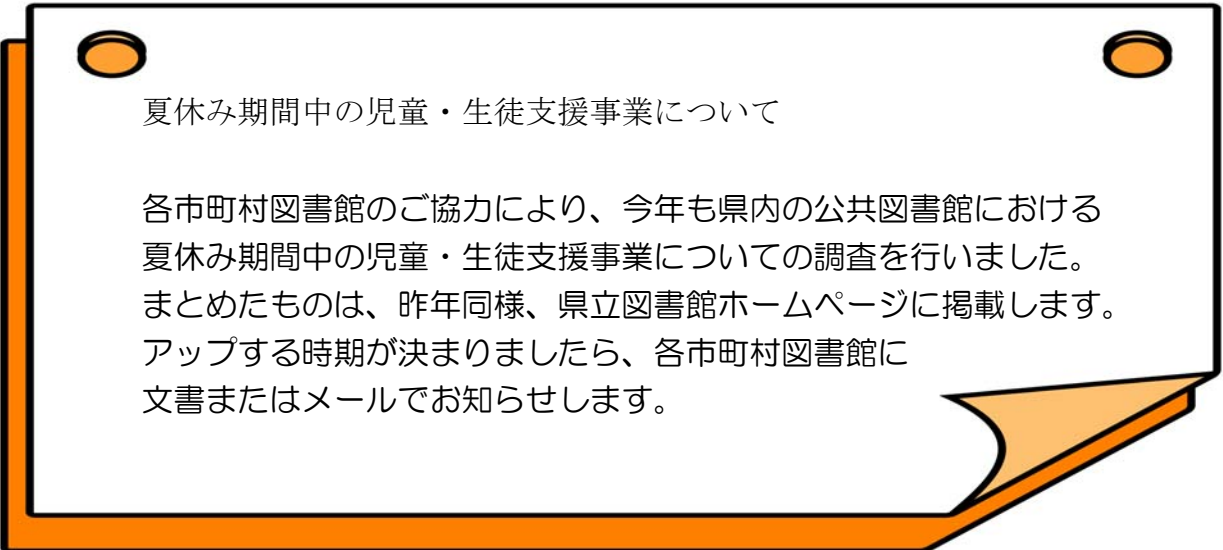


調べ学習の秘密基地について

夏休みの児童・生徒支援事業の一環として、今年も夏休み期間中に書庫にある本の中から調べ学習に役立つ本を選んで展示し、小中学生に提供します。昨年度は『自由研究・工作』『観察・実験』『国際』『福祉』『環境』『歴史』『その他（読書感想文）』の7つのテーマで、合計241冊の本を展示し、期間中、多くの方（特に小学生）に利用していただきました。

過去2年間の児童図書は、児童図書研究室で見てもらえますが、書庫に入った本をまとめて見てもらえる機会はほとんどありません。子どもさんだけでなく、保護者の方や教育関係者の方、司書の方などにもご覧いただき、意見を聞かせていただければ、今後の選定や収集にも役立ていけると思います。

展示する場所は、おはなしのへやです。



夏休み期間中の児童・生徒支援事業について

各市町村図書館のご協力により、今年も県内の公共図書館における夏休み期間中の児童・生徒支援事業についての調査を行いました。まとめたものは、昨年同様、県立図書館ホームページに掲載します。アップする時期が決まりましたら、各市町村図書館に文書またはメールでお知らせします。

岡山県立図書館 サービス第一課 児童資料班

〒700-0823 岡山市北区丸の内 2-6-30

tel (086)224-1288

E-mail;libnet@libnet.pref.okayama.jp